

様式3 新規採択箇所表

(事業名 県単独河川改良事業:当初)

(単位:百万円)

事務所	路線・河川名等	市町村名	大字	全体事業費	箇所付額	事業内容	新規採択の理由
下田	(二)大賀茂川	下田市	大賀茂	22	5	護岸工	道路改良工事に併せた河川付替工を実施
下田	(二)那賀川	賀茂郡松崎町	南郷	90	5	護岸工 樋管工	護岸と樋管整備を行い浸水被害を未然に防止
下田	(二)仁科川	賀茂郡西伊豆町	仁科	20	20	河床掘削工	堆積土砂の撤去により河道を確保し浸水被害を未然に防止
熱海	(二)寺田川	伊東市	渚町	15	15	落差工 (魚道)	魚道整備を実施
沼津	(一)函南冷川	田方郡函南町	桑原	50	30	護岸工	老朽化護岸の早期復旧により浸水被害を未然に防止
沼津	(一)沼川	沼津市	大塚	40	20	用地補償	大型工場移転の用地先行取得に伴う利子・事務費
沼津	(二)山川	伊豆市	土肥	50	10	樋門遠隔化	津波対策として、樋門の遠隔化を図る
沼津	(一)黄瀬川	沼津市	大岡	50	10	護岸工	狭窄部となっている区間の護岸整備により浸水被害を未然に防止
沼津	(一)黄瀬川	裾野市	二ツ屋	45	10	護岸工	狭窄部となっている区間の護岸整備により浸水被害を未然に防止
沼津	(一)湯舟川	伊豆市	湯舟	30	20	護岸工	老朽化護岸、無堤部の護岸整備により浸水被害を未然に防止
静岡	(二)巴川	静岡市葵区	河合	200	25	護岸工	老朽化護岸を整備することにより浸水被害を未然に防止
静岡	(二)巴川 (麻機遊水地)	静岡市葵区	牛田	60	20	掘削工	遊水地の堆積土砂の撤去により遊水機能を確保
静岡	(二)巴川 (麻機遊水地)	静岡市葵区	南	15	15	回廊工	遊水地の周遊ルートとなる回廊を設置
島田	(二)瀬戸川	焼津市	保福島	10	10	護岸工	築堤護岸の整備により浸水被害を未然に防止
島田	(一)伊太谷川	島田市	御飯屋	170	20	護岸工	河積を拡大させる護岸整備を行い浸水被害を未然に防止
袋井	(二)原野谷川	袋井市	愛野	130	10	堤防補強工	漏水等の危険がある堤防を補強し堤防決壊を未然に防止
袋井	(二)原野谷川	掛川市	本郷	60	10	築堤工	カミソリ堤の区間を整備することにより堤防決壊を未然に防止
袋井	(二)仿僧川	磐田市	前野	130	10	護岸工	河積を拡大させる護岸整備を行い浸水被害を未然に防止
浜松	(一)二俣川	浜松市天竜区	山東	20	20	護岸工 河床掘削工	護岸整備・河床掘削を行い浸水被害を未然に防止
浜松	(一)気田川	浜松市天竜区	小川字 笹合	150	20	護岸工	老朽化護岸、無堤部の護岸整備により浸水被害を未然に防止
浜松	(二)都田川 (浜名湖)	浜松市西区	雄踏町 山崎	50	20	護岸工	湖岸堤の老朽化護岸を整備することにより浸水被害を未然に防止
袋井	(二)太田川ダム	周知郡森町	亀久保	20	20	護岸工	ダム湖の法面崩壊を防止する護岸整備によりダム機能を確保

※全体事業概要書、写真等内容がわかる資料を適宜添付すること。

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 大賀茂川
 地先名 : 下田市 大賀茂 地先
 全体計画延長 : 河川付替工 L = 1 8 3 m
 実施内容 : 用地補償
 改修規模 : 1 / 3 0 確率規模
 全体事業費 : 2 2 , 0 0 0 千円

改修目的と方法

(目的) 道路改良工事に伴い河川を付替えるとともに、流下能力向上を図る
 (方法) 河川付替工として多自然や景観に配慮した河川整備を実施する

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		2
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度	A	
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 5 0 % が宅地	A	2
	・ 周辺の災害弱者施設	A	
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績	A	2
	・ 関連他事業 (伊東大川景観整備事業)	A	
事業の効率性	・ 継続、継続完了		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		1
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収不要		
	・ 地元要望有り	A	
計			7

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 那賀川
 地先名 : 賀茂郡 松崎町南郷 地先
 全体計画延長 : 護岸工、N=1 箇所
 実施内容 : 護岸工、樋管整備検討
 改修規模 : 1 / 5 確率規模
 全体事業費 : 90,000 千円

改修目的と方法

(目的) 護岸工・樋管整備を行い、内水被害の軽減を図る。
 (方法) 内水被害の軽減のため、護岸工及び樋管整備を実施する。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度	A	3
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度	A	
事業の重要性	・ 築堤河川で川沿いの約 50% が宅地	A A	2
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無 ・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績 (住宅密集地、床上浸水あり)	A A	2
	・ 関連他事業		
事業の効率性	・ 単年度完成		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収不要	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			9

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 仁科川
 地先名 : 西伊豆町 仁科 地先
 全体計画延長 : L = 300 m
 実施内容 : 河床掘削工
 改修規模 : 1 / 50 確率規模
 全体事業費 : 20,000 千円

改修目的と方法

(目的) 流下能力向上を図るため堆積土砂を撤去する (H25.7 堤防越水被害)
 (方法) 河積阻害している堆積土砂を撤去する。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度	A	2
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度		
事業の重要性	・ 築堤河川で川沿いの約 50 % が宅地	A A	3
	・ 周辺の災害弱者施設	A	
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所	A	
事業の緊急性	・ 浸水実績 (住宅密集地、床上浸水あり)	A A	2
	・ 関連他事業		
事業の効率性	・ 単年度完成		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収不要	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			9

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 寺田川
 地先名 : 伊東市 松川町 地先
 全体計画延長 : 多段式落差工（魚道工） N = 1 式
 実施内容 : 多段式落差工（魚道工） N = 1 式
 改修規模 : 1 / 5 確率規模
 全体事業費 : 15,000 千円

改修目的と方法

（目的）当河川に位置付けのある協議会からの要望を受けて、魚が遡上できる護岸整備（魚道工）を実施する。
 （方法）多自然や景観に配慮した多段式落差工（魚道工）を設置する。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度	A	2
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度（老朽化）		
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50% が宅地	A	2
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所	A	
事業の緊急性	・ 浸水実績（越水被害あり）	A	2
	・ 関連他事業	A	
事業の効率性	・ 完成		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		3
	・ 地域との協働により計画策定	A	
	・ 用地買収容易	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			9

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 函南冷川
 地先名 : 田方郡函南町 桑原 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 180 m
 実施内容 : 護岸工 L = 60 m
 改修規模 : 1 / 5 確率規模
 全体事業費 : 50,000 千円

改修目的と方法

(目的) 老朽化護岸及び無堤部の護岸整備を実施し、浸水被害の軽減を図る。
 (方法) 既設護岸の撤去し、環境に配慮した護岸整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		1
	・ 上下流バランス		
	・ 構造的危険度	A	
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50 % が宅地	A	1
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績	A A A	3
	・ 関連他事業 (身延線鉄道高架化事業)		
事業の効率性	・ 完成		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収不要	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			7

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 沼川
 地先名 : 沼津市 大塚 地先
 全体計画延長 : 放水路 N = 1 箇所
 実施内容 : 用地先行取得
 改修規模 : 1 / 10 確率規模
 全体事業費 : 40,000 千円

改修目的と方法

(目的) 沼川新放水路整備の用地補償に伴う用地先行取得にかかる事務費
 (方法) 大規模工場の移転補償に伴う用地補償の用地先行取得の利子と事務費

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度	A	2
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度		
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50% が宅地	A	4
	・ 周辺の災害弱者施設	A A	
	・ 流域の開発計画の有無	A	
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績あり	A A A	3
	・ 関連他事業 (身延線鉄道高架化事業)		
事業の効率性			
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済	A	3
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収不要	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			12

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 山川
 地先名 : 伊豆市 土肥 地先
 全体計画延長 : 樋門遠隔化 N = 1 式
 実施内容 : 樋門遠隔化設計
 改修規模 :
 全体事業費 : 50,000千円

改修目的と方法

(目的) 津波対策として樋門操作の自動遠隔化を図る
 (方法) 地震(津波)発生時に現地に行かず閉鎖操作が可能となる自動遠隔化の施設整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	Aの数
事業の必要性	・現況流下能力が1/2程度	A	2
	・上下流バランス		
	・構造的危険度	A	
事業の重要性	・築堤河川で川沿いの約50%が宅地	A A	3
	・周辺の災害弱者施設	A	
	・流域の開発計画の有無		
	・重要水防箇所		
事業の緊急性	・浸水実績	A	1
	・関連他事業(身延線鉄道高架化事業)		
事業の効率性	・		
事業の熟度	・河川整備計画策定済		2
	・地域との協働により計画策定		
	・用地買収不要	A	
	・地元要望有り	A	
計			8

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 黄瀬川
 地先名 : 沼津市 大岡 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 80 m
 実施内容 : 測量設計
 改修規模 : 1 / 10 確率規模
 全体事業費 : 50,000 千円

改修目的と方法

(目的) 狭窄部(ネック部)となっている箇所の護岸整備を行う。
 (方法) 狭窄部を開削し、前後の整備済みの護岸工に擦り付け、治水安全度の向上を図る。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度	A	3
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度	A	
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50 % が宅地	A	1
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績	A	1
	・ 関連他事業(身延線鉄道高架化事業)		
事業の効率性			
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収不要	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			7

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 黄瀬川
 地先名 : 裾野市 二ツ屋 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 130 m
 実施内容 : 測量設計、用地補償
 改修規模 : 1 / 10 確率規模
 全体事業費 : 45,000 千円

改修目的と方法

(目的) 狭窄部(ネック部)となっている箇所の護岸整備を行う。
 (方法) 狭窄部を開削し、前後の整備済みの護岸工に擦り付け、治水安全度の向上を図る。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		2
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度	A	
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50 % が宅地	A	1
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績	A	1
	・ 関連他事業(身延線鉄道高架化事業)		
事業の効率性			
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収不要	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			6

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 湯舟川
 地先名 : 伊豆市 湯舟 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 140 m
 実施内容 : 護岸工 L = 60 m
 改修規模 : 1 / 10 確率規模
 全体事業費 : 30,000 千円

改修目的と方法

(目的) 老朽化護岸と自然河岸の崩壊箇所の護岸を整備する。
 (方法) 河川屈曲部の越水箇所(法面崩壊)及び老朽化護岸の整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	Aの数
事業の必要性	・現況流下能力が1 / 2程度	A	2
	・上下流バランス		
	・構造的危険度	A	
事業の重要性	・掘込河川で川沿いの約50%が宅地	A	1
	・周辺の災害弱者施設		
	・流域の開発計画の有無		
	・重要水防箇所		
事業の緊急性	・浸水実績	A	1
	・関連他事業(身延線鉄道高架化事業)		
事業の効率性			
事業の熟度	・河川整備計画策定済		2
	・地域との協働により計画策定		
	・用地買収不要	A	
	・地元要望有り	A	
計			6

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 巴川
 地先名 : 静岡市 葵区河合 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 1 1 0 0 m
 実施内容 : 測量設計
 改修規模 : 1 / 1 0 確率規模
 全体事業費 : 2 0 0 , 0 0 0 千円

改修目的と方法

(目的) 老朽化した既設護岸(一部崩壊)を整備する。
 (方法) 老朽化護岸を撤去し、新設護岸を整備することにより、出水時の護岸決壊や都市部の浸水を防止する。

評価

評価項目	評価内容	評価	Aの数
事業の必要性	・現況流下能力が1 / 2程度		1
	・上下流バランス		
	・構造的危険度(老朽化)	A	
事業の重要性	・掘込河川で川沿いの約50%が宅地	A	2
	・周辺の災害弱者施設	A	
	・流域の開発計画の有無		
	・重要水防箇所		
事業の緊急性	・浸水実績(越水被害あり)	AA	2
	・関連他事業		
事業の効率性	・完成		
事業の熟度	・河川整備計画策定済	A	2
	・地域との協働により計画策定		
	・用地買収容易		
	・地元要望有り	A	
計			7

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 巴川
 地先名 : 静岡市 葵区牛田 地先
 全体計画延長 : 掘削工 V = 30,000 m³
 実施内容 : 掘削工 V = 10,000 m³
 改修規模 : 1 / 10 確率規模
 全体事業費 : 60,000 千円

改修目的と方法

(目的) 麻機遊水地第3工区の堆積土砂の撤去を行う。
 (方法) 老朽化護岸を撤去し、新設護岸を整備することにより、出水時の護岸決壊や都市部の浸水を防止する。

評価

評価項目	評価内容	評価	Aの数
事業の必要性	・現況流下能力が1 / 2程度	A	2
	・上下流バランス	A	
	・構造的危険度(老朽化)		
事業の重要性	・掘込河川で川沿いの約50%が宅地	A	2
	・周辺の災害弱者施設		
	・流域の開発計画の有無		
	・重要水防箇所	A	
事業の緊急性	・浸水実績(越水被害あり)	A	2
	・関連他事業	A	
事業の効率性	・完成		
事業の熟度	・河川整備計画策定済	A	3
	・地域との協働により計画策定		
	・用地買収なし	A	
	・地元要望有り	A	
計			9

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 巴川
 地先名 : 静岡市 葵区南 地先
 全体計画延長 : 回廊工 L = 100m
 実施内容 : 回廊工 L = 100m
 改修規模 :
 全体事業費 : 15,000千円

改修目的と方法

(目的) 麻機遊水地第4工区内の回廊を設置する。
 (方法) 自然再生協議会と調整を図り、遊水地内に周遊ルートとなる回廊を設置する。

評価

評価項目	評価内容	評価	Aの数
事業の必要性	・現況流下能力が1/2程度		0
	・上下流バランス		
	・構造的危険度(老朽化)		
事業の重要性	・掘込河川で川沿いの約50%が宅地		0
	・周辺の災害弱者施設		
	・流域の開発計画の有無		
	・重要水防箇所		
事業の緊急性	・浸水実績(越水被害あり)		1
	・関連他事業	A	
事業の効率性	・完成(浄化対策後の回廊の再整備)	AA	2
事業の熟度	・河川整備計画策定済	A	4
	・地域との協働により計画策定	A	
	・用地買収なし	A	
	・地元要望有り	A	
計			7

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 瀬戸川
 地先名 : 焼津市 保福島 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 20 m
 実施内容 : 護岸工 L = 20 m
 改修規模 : 1 / 50 確率規模
 全体事業費 : 10,000 千円

改修目的と方法

(目的) 築堤部の土羽法面について、張ブロックを施工して洗掘対策を図る。
 (方法) 築堤部の土羽法面を張ブロックにて整備する。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		0
	・ 上下流バランス		
	・ 構造的危険度 (カミソリ堤、漏水等)		
事業の重要性	・ 築堤河川で川沿いの約 50 % が宅地	A A	3
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無	A	
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績 (流域で実績あり)	A	1
	・ 関連他事業 (道の駅整備)		
事業の効率性	・ 完成	A A	2
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済	A	2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収容易		
	・ 地元要望有り	A	
計			8

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 伊太谷川
 地先名 : 島田市 御飯屋 地先
 全体計画延長 : 河川改修 L = 500 m
 実施内容 : 護岸設計
 改修規模 : 1 / 10 確率規模
 全体事業費 : 170,000 千円

改修目的と方法

(目的) 河積拡大を図る護岸整備を実施し、浸水被害を解消する。
 (方法) 河積拡大させる護岸の改修や取水堰の改良等を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度	A	1
	・ 上下流バランス		
	・ 構造的危険度 (カミソリ堤、漏水等)		
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50 % が宅地	A A	4
	・ 周辺の災害弱者施設	A	
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所	A	
事業の緊急性	・ 浸水実績 (流域で実績あり)	A A A	4
	・ 関連他事業 (道の駅整備)	A	
事業の効率性	・		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済	A	2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収容易	A	
	・ 地元要望有り		
計			11

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 原野谷川
 地先名 : 袋井市 愛野 地先
 全体計画延長 : 堤防補強 L = 3 , 0 0 0 m
 実施内容 : 堤防設計
 改修規模 : 1 / 1 0 確率規模
 全体事業費 : 1 3 0 , 0 0 0 千円

改修目的と方法

(目的) 堤防補強、河積確保の河川整備により、堤防の安全度を向上させる。
 (方法) 堤防補強と護岸整備を行い、漏水や堤防決壊等に対する事前防災対策実施する。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		2
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度 (カミソリ堤、漏水等)	A	
事業の重要性	・ 築堤河川で川沿いの約 5 0 % が宅地	A	3
	・ 周辺の災害弱者施設	A	
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所	A	
事業の緊急性	・ 浸水実績 (流域で実績あり)	A	1
	・ 関連他事業 (道の駅整備)		
事業の効率性	・		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		1
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収容易		
	・ 地元要望有り	A	
計			7

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 原野谷川
 地先名 : 掛川市 本郷 地先
 全体計画延長 : 堤防嵩上工 L = 100 m
 実施内容 : 堤防設計
 改修規模 : 1 / 10 確率規模
 全体事業費 : 60,000 千円

改修目的と方法

(目的) 破堤危険度が高いカミソリ堤の区間の築堤工を行う。
 (方法) 堤防嵩上げ及び腹付盛土の築堤工により、カミソリ堤の整備を実施し、堤防の安全度を向上させる。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		2
	・ 上下流バランス	A	
	・ 構造的危険度 (カミソリ堤、漏水等)	A	
事業の重要性	・ 築堤河川で川沿いの約 50 % が宅地		1
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所	A	
事業の緊急性	・ 浸水実績 (流域で実績あり)	A	1
	・ 関連他事業		
事業の効率性	・		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済	A	3
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収容易	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			7

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 二俣川
 地先名 : 浜松市天竜区 山東 地先
 全体計画延長 : 河床掘削工・護岸工 L = 200 m
 実施内容 : 河床掘削工・護岸工 L = 50 m
 改修規模 : 1 / 30 確率規模
 全体事業費 : 20,000 千円

改修目的と方法

(目的) 水衝部の護岸整備及び堆積土砂撤去を行い、治水安全度の向上を図る。
 (方法) 水衝部の洗掘防止のため護岸を新設する。また、河積阻害の土砂撤去を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		1
	・ 上下流バランス		
	・ 構造的危険度 (法面崩壊)	A	
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50 % が宅地	A	1
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無 (道路関連)		
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績	A	1
	・ 関連他事業		
事業の効率性			
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収容易	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			5

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 一級河川 気田川
 地先名 : 浜松市天竜区 小川字笹合 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 200 m
 実施内容 : 測量設計・護岸工 L = 20 m
 改修規模 : 1 / 30 確率規模
 全体事業費 : 150,000 千円

改修目的と方法

(目的) 老朽化護岸の改修を行い、治水安全度の向上を図る。
 (方法) 既設護岸を撤去し、多自然川づくりに配慮した護岸整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		1
	・ 上下流バランス		
	・ 構造的危険度 (老朽化護岸)	A	
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50 % が宅地	A	1
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無 (道路関連)		
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績	A	1
	・ 関連他事業		
事業の効率性			
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収容易	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			5

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 都田川 (浜名湖)
 地先名 : 浜松市西区 雄踏町山崎 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 50 m
 実施内容 : 測量設計
 改修規模 : 1 / 30 確率規模
 全体事業費 : 50,000 千円

改修目的と方法

(目的) 湖岸堤の矢板護岸が老朽化により崩壊するため、護岸の改修を行う。
 (方法) 既設護岸を撤去し、新設の矢板護岸の整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		1
	・ 上下流バランス		
	・ 構造的危険度 (老朽化・一部崩壊)	A	
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50 % が宅地	A	1
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無 (道路関連)		
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績	A	1
	・ 関連他事業		
事業の効率性	・ 完成		
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済		2
	・ 地域との協働により計画策定		
	・ 用地買収容易	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			5

県単河川改良事業 新規事業実施箇所 概要書

河川名 : 二級河川 太田川
 地先名 : 周知郡森町 亀久保 地先
 全体計画延長 : 護岸工 L = 50 m
 実施内容 : 護岸工 L = 50 m
 改修規模 : 1 / 50 確率規模
 全体事業費 : 20,000 千円

改修目的と方法

(目的) 太田川ダムの湖岸の法面崩壊防止のため護岸整備を行う。
 (方法) ダム湖における法面崩壊が発生している区間について、護岸整備(法面崩壊対策)を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・ 現況流下能力が 1 / 2 程度		1
	・ 上下流バランス		
	・ 構造的危険度(ダム貯水域内等)	A	
事業の重要性	・ 掘込河川で川沿いの約 50% が宅地		0
	・ 周辺の災害弱者施設		
	・ 流域の開発計画の有無		
	・ 重要水防箇所		
事業の緊急性	・ 浸水実績(流域で実績あり)		0
	・ 関連他事業		
事業の効率性	・	A A	2
事業の熟度	・ 河川整備計画策定済	A	4
	・ 地域との協働により計画策定	A	
	・ 用地買収なし	A	
	・ 地元要望有り	A	
計			7

県単海岸改良事業 新規事業実施箇所 概要書

海岸名 : 浜松五島海岸
 地先名 : 浜松市南区松島町 地先
 全体計画延長 : L = 15 m
 実施内容 : 離岸堤嵩上げ工
 全体事業費 : 35,000 千円

改修目的と改修方法

(目的) 高波浪の越波被害から背後地の防護を図る。
 (方法) 離岸堤(ブロック)を嵩上げすることにより、汀線の維持を図る。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・侵食傾向(5年間 25m 以上)あり	AA	2
事業の重要性			1
	・背後地に下水処理場あり	A	
事業の緊急性	・災害復旧事業との連携	A	3
	・H25 隣接消波堤及び背後の自転車道が被災	AA	
事業の効率性	・海岸利用への配慮あり	A	1
事業の熟度	・海岸保全基本計画に位置付けあり	A	2
	・地域などと連携した維持管理	A	
計			9

県単河川海岸環境整備事業 新規事業実施箇所 概要書

河川・海岸名 : 二級河川黄瀬川
 地先名 : 裾野市伊豆島田地先
 全体計画延長 : L = 250 m
 実施内容 : 遊歩道整備工
 全体事業費 : 約 11,000 千円

改修（整備）目的と方法

（目的）当要望箇所の下流に遊歩道の整備がなされており、一連区間の整備により、連続性を図る。
 （方法）遊歩道などの整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・周辺が住宅地	A	1
事業の重要性			
事業の緊急性			
事業の効率性			
事業の熟度	・リバーフレンドシップ同意書を締結予定	AA	2
計			3

県単河川海岸環境整備事業 新規事業実施箇所 概要書

河川・海岸名 : 二級河川河津川
 地先名 : 河津町沢田地先
 全体計画延長 : L = 300 m
 実施内容 : 遊歩道整備工
 全体事業費 : 約 40,000 千円

改修（整備）目的と方法

（目的）当要望箇所は河川堤防沿いの桜並木が有名な観光地であり、観光客の利便性の向上を図る。
 （方法）遊歩道などの整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・周辺が住宅地で河津町役場など付近に公共施設あり	AA	2
事業の重要性	・高水敷等を利用した拠点(面的)整備箇所	AA	2
事業の緊急性			
事業の効率性			
事業の熟度	河川整備計画	AA	2
計			6

県単河川海岸環境整備事業 新規事業実施箇所 概要書

河川・海岸名 : 二級河川瀬戸川
 地先名 : 焼津市保福島地先
 全体計画延長 : L = 170 m
 実施内容 : 遊歩道整備工
 全体事業費 : 約 27,000 千円

改修（整備）目的と方法

(目的) 当要望箇所の下流に遊歩道の整備がなされており、一連区間の整備により、連続性を図る。
 (方法) 遊歩道などの整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・周辺が住宅地で焼津市総合グラウンド(公共施設)あり	AA	2
事業の重要性	・既存の遊歩道と連結し藤枝市境から下流へ全長1.6 kmの遊歩道となる。	AA	2
事業の緊急性			
事業の効率性			
事業の熟度	河川整備計画あり	AA	2
計			6

県単河川海岸環境整備事業 新規事業実施箇所 概要書

河川・海岸名 : 二級河川瀬戸川
 地先名 : 藤枝市堀之内地先
 全体計画延長 : L = 5 5 5 m
 実施内容 : 遊歩道整備工
 全体事業費 : 約 1 7 , 0 0 0 千円

改修（整備）目的と方法

（目的）当要望箇所の対岸は遊歩道の整備がなされており、当区間の整備により、周遊性、連続性を図る。
 （方法）遊歩道などの整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・周辺が住宅地で稲葉小学校あり	AA	2
事業の重要性	・上流部の既存道路と接続し、桂島河川敷公園へのアクセス道となる。	AA	2
事業の緊急性			
事業の効率性			
事業の熟度	・河川整備計画あり。	AA	2
計			6

県単河川海岸環境整備事業 新規事業実施箇所 概要書

河川・海岸名 : 二級河川河津川
 地先名 : 湖西市梅田地先
 全体計画延長 : L = 500 m
 実施内容 : 遊歩道整備工
 全体事業費 : 約 8,000 千円

改修（整備）目的と方法

（目的）当要望箇所の上下流に歩道の整備がなされており、一連区間の整備により連続性を図る。
 （方法）遊歩道などの整備を行う。

評価

評価項目	評価内容	評価	A の数
事業の必要性	・周辺が住宅地でJR新所原駅(公共施設)あり	AA	2
事業の重要性	・要望箇所の下流に整備された遊歩道と連結し、新所原駅へと向かう遊歩道の連続性を図る。	AA	2
事業の緊急性			
事業の効率性			
事業の熟度			
計			4